

所属名	事務事業名	ページ番号
人権・同和政策課	人権啓発広報事業	2
人権・同和政策課	自立支援事業費補助金	3
人権・同和政策課	隣保館管理運営事業	4
人権・同和政策課	人権・同和教育研修会等開催事業	5
人権・同和政策課	社会同和教育団体育成事業	6
人権・同和政策課	教育集会所管理運営事業	7



# 令和6年度 事務事業進捗報告シート

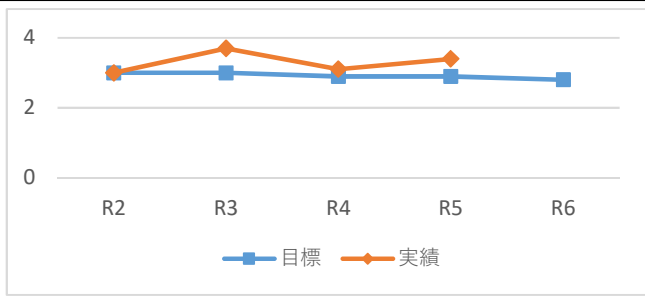
事務事業名	自立支援事業費補助金	事業期間	昭和 45 ~ 年度
担当部署・係名	人権・同和政策課 同和対策係	担当課長名	橋本 直史
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	人権尊重の確立	
	基本事業	同和対策の推進	

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	人権・同和問題の早期解決のために教宣活動（教育、研修、相談事業等）事業や研究活動（調査、研究、学習等）事業等の取り組みを実施している運動団体へ、自立支援事業費補助金を交付する。				
事業の対象者	部落解放同盟佐賀市協議会				
令和5年度 主な活動実績	【補助金額】 ・部落解放同盟佐賀市協議会 3,780千円				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,060	2,990	3,780	3,780	
うち佐賀市の負担額	3,060	2,990	3,780	3,780	

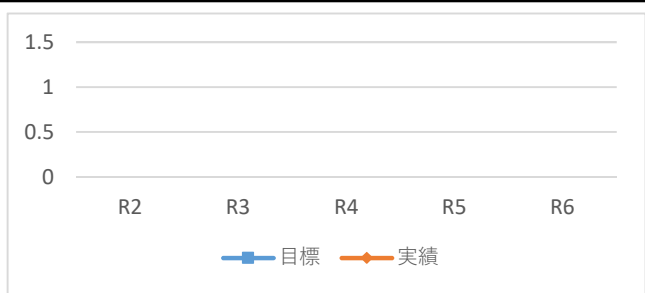
## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
1年以内に人権侵害を受けたことがある市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3.0	3.0 3.7	2.9 3.1	2.9 3.4	2.8		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	コロナ禍における人権侵害の増加や、人と人との接触する機会の減少等の影響で、実績値もここ数年間上下しており、目標値に達していない。今後も教育、研修、相談事業等を推進していく必要がある。



成果目標達成に向けた対応策等
同和問題の早期解決に向け、同和関係者の自立向上、人権侵害の解消といった施策（差別に負けない知識の習得や学習等）を推進し、人権・同和問題に関する理解と認識を高める。

# 令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	隣保館管理運営事業	事業期間	昭和 62 ~ 年度
担当部署・係名	人権・同和政策課 同和対策係	担当課長名	橋本 直史
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	人権尊重の確立	
	基本事業	人権意識の高揚	

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	福祉の向上や人権教育・啓発における住民交流の拠点施設として活動の充実を図るとともに、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行う。				
事業の対象者	周辺地域住民				
令和5年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権・同和問題に関する各種研修会や行事等の開催</li> <li>・福祉の向上を図るための各種講座の開催</li> <li>・地域住民の活動や学習の機会・場所の提供</li> <li>・隣保館の管理・運営 等</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	8,886	8,712	9,151	9,474	
うち佐賀市の負担額	1,490	1,316	1,755	2,078	

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
人権・同和問題に関心がある市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
57.7	57.6 57.2	58.4 55.7	59.2 59.1	60		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	各種教室、研修会及び地域交流事業(隣保館まつり、県外視察研修等) については、コロナ禍前の実施水準を回復した。人権教育・啓発を行う機会が増えたことで成果指標の向上につながったと考える。



成果目標達成に向けた対応策等
各種研修・教室、主催事業、会議等における周辺地域住民等の利用を促進することにより、人権・同和問題に関する理解と認識を高める。

# 令和6年度 事務事業進捗報告シート

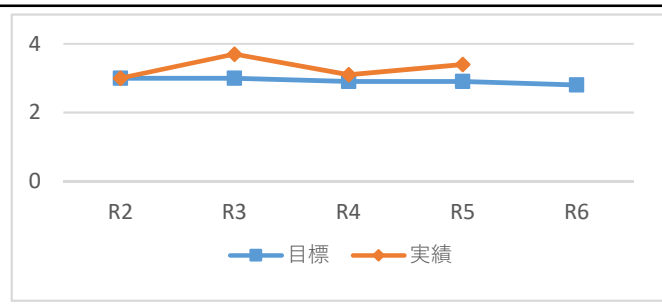
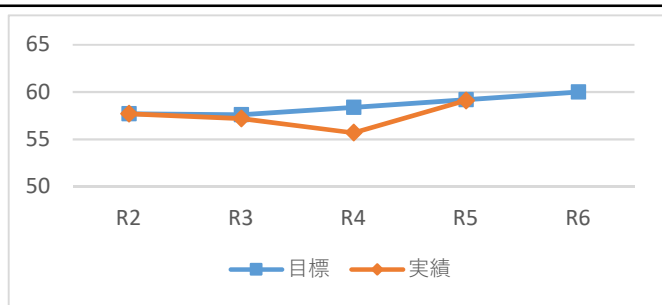
事務事業名	人権・同和教育研修会等開催事業	事業期間	昭和 52 ~ 年度
担当部署・係名	人権・同和政策課 人権啓発係	担当課長名	橋本 直史
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	人権尊重の確立	
	基本事業	人権意識の高揚	

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	人権ふれあい学級や同和问题講演会の開催、人権・同和问题に関する公民館研修や企業研修等を通して、市民の人権意識の高揚を図る。また、①就学前、②学校・P T A（子育て世代）、③企業（働き世代）、④地域社会、それぞれの場において、市民の人権・同和问题への理解を推進する。				
事業の対象者	市民				
令和5年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権・同和问题に関する研修会や講演会を主催</li> <li>・公民館や自治公民館、企業等の主催する人権・同和问题に関する研修会に社会人権・同和教育指導員を派遣</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	18,588	17,625	18,322	17,844	
うち佐賀市の負担額	14,191	13,333	13,928	13,420	

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
人権・同和问题に関心がある市民の割合						%
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
57.7	57.6	57.2	58.4	55.7	59.2	59.1
						60
成果指標②						単位
1年以内に人権侵害を受けたことがある市民の割合						%
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
3.0	3.0	3.7	2.9	3.1	2.9	3.4
						2.8



## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	人権ふれあい学級や公民館研修等の研修機会の回復により、人権・同和问题への関心は高まっている。しかしながら、人権侵害については微増しており、幅広く人権意識を浸透させていく必要がある。



成果目標達成に向けた対応策等
人権・同和问题に関する研修会や講演会の主催や公民館や企業等の主催する研修会に社会人権・同和教育指導員を派遣し、市民の人権意識の高揚を図っていく。研修会でのオンデマンドの活用やLINEでの広報等、多様な啓発・広報を行うとともに、人権侵害を受けた際の相談窓口の周知も行っていく。

# 令和6年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	社会同和教育団体育成事業	<b>事業期間</b>	昭和 51 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	人権・同和政策課 人権啓発係	<b>担当課長名</b>	橋本 直史
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	<b>施策</b>	人権尊重の確立	
	<b>基本事業</b>	人権意識の高揚	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	基本的人権を尊重し、同和問題をはじめとした様々な人権問題に関する差別の解消に向けた教育・啓発の推進を図るため、各地域の社会人権・同和教育推進協議会が実施する事業に対し補助金を交付する。				
<b>事業の対象者</b>	市社会人権・同和教育推進協議会、各地域社会人権・同和教育推進協議会				
<b>令和5年度 主な活動実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市社会人権・同和教育推進協議会へ1, 100千円、各地域社会人権・同和教育推進協議会（26地域）へ140千円補助</li> <li>・各協議会への講師派遣</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	4,840	4,605	4,740	4,740	
うち佐賀市の負担額	4,840	4,605	4,740	4,740	

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位		
人権・同和問題に関心がある市民の割合						%		
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績	R6 目標	R6 実績
57.7	57.6	57.2	58.4	55.7	59.2	59.1	60	

成果指標②						単位		
1年以内に人権侵害を受けたことがある市民の割合						%		
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績	R6 目標	R6 実績
3	3	3.7	2.9	3.1	2.9	3.4	2.8	

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	各地域の社会人権・同和教育推進協議会の研修機会の回復により、人権・同和問題への関心は高まっている。しかしながら、人権侵害については微増しており、幅広く人権意識を浸透させていく必要がある。



成果目標達成に向けた対応策等
各協議会への講師派遣や共催事業の実施、各地域での自主研修や学習会の開催促進等を行い、人権意識の高揚を図っていく。

# 令和6年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	教育集会所管理運営事業	<b>事業期間</b>	昭和 52 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	人権・同和政策課 同和対策係	<b>担当課長名</b>	橋本 直史
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	<b>施策</b>	人権尊重の確立	
	<b>基本事業</b>	人権意識の高揚	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	人権・同和問題に関する人権啓発の交流拠点（同和教育集会所、田代ふれあいセンター、大和教育集会所、久保田教育集会所）として各種研修会や行事、相談事業等を行い、人権意識の高揚を図る。				
<b>事業の対象者</b>	周辺地域住民				
<b>令和5年度主な活動実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権・同和問題に関する各種研修会や行事等の開催</li> <li>・地域住民の活動や学習の機会、場所の提供</li> <li>・教育集会所の管理運営 等</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	13,796	11,419	9,821	9,842	
<b>うち佐賀市の負担額</b>	11,691	9,324	7,817	8,022	

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
人権・同和問題に関心がある市民の割合						%
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
57.7	57.6	57.2	58.4	55.7	59.2	59.1
					60.0	

成果指標②						単位
1年以内に人権侵害を受けたことがある市民の割合						%
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
3.0	3.0	3.7	2.9	3.1	2.9	3.4
					2.8	

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	各種研修会や行事等の機会の回復により、人権・同和問題への関心は高まっており、ほぼ目標に達している。しかし、人権侵害については微増しており、今後も人権意識の高揚を図る必要がある。



成果目標達成に向けた対応策等
年間を通して、各種研修会や行事等を開催することにより、人権・同和問題に関する理解と認識を高める。